

# 会議録

会議の名称	令和7年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会					
開催日時	令和8年2月9日（月曜日）			開会	午後 2時	
				閉会	午後 3時	
開催場所	東松山市総合会館多目的ホールB（東松山市役所総合会館4階）					
会議次第	1 開会 2 議事 （1）第四次市民福祉プラン等策定に係る基礎調査結果について （2）第四次市民福祉プラン取り組み案について （3）第四次市民福祉プラン「めざす姿」について （4）その他 3 その他					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
委員出欠状況	委員長	葉石 光一	出	委員	宮腰 智裕	出
	委員	神辺 正規	出	委員	磯貝 瑞	出
	委員	武田 耕典	出	委員	篠田 真一	出
	委員	佐藤 美奈	出	委員	丹羽 彩文	欠
	委員	若尾 勝己	出	委員	遠藤 正宣	欠
	委員	中能 広和	出	委員	石川 京子	出
	委員	田原 祐己子	出	委員	原口 展昭	欠
	委員	青木 梨恵	出	委員	河村 利恵	出
	委員	杉浦 翔太	出			
事務局	健康福祉部 柳沢部長			健康福祉部 山口次長		
	障害者福祉課 荻原課長			障害者福祉課 小松主査		
	障害者福祉課 大曾根主査			障害者福祉課 金子主任		

次 第	顛 末
<p><b>1 開会</b> 事務局（障害者福祉課 金子主任）</p> <p>葉石委員長</p> <p>事務局（障害者福祉課 金子主任）</p> <p><b>2 議事</b> 葉石委員長</p> <p>事務局（障害者福祉課 金子主任）</p>	<p>皆様こんにちは。本日は公私とも大変お忙しいところ、お集まりをいただき、誠にありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます。障害者福祉課の金子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではただいまから、令和7年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会を開会いたします。本会議につきましては事前にお配りした次第により進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、葉石委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>— 挨拶 —</p> <p>葉石委員長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委員の出席状況についてご報告申し上げます。17名の委員のうち、本日出席委員は14名となっております。従いまして、東松山市障害者計画等策定委員会条例第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本会議は成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日の会議の会議録作成にあたり、出席委員2名の方に署名をお願いしたいと存じます。本日の会議録につきましては、田原委員と青木委員にお願いをしたいと存じます。後日、会議録ができましたら事務局よりご連絡を申し上げますので、ご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>— 資料確認 —</p> <p>ありがとうございます。それでは議事に入らせていただきます。議事につきましては、障害者計画等策定委員会条例第6条第1項の規定により委員長が議長を務めることとなっておりますので、葉石委員長よりよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入る前に確認事項がございます。東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では公開・非公開の決定を会に諮って決めることになっております。</p> <p>まず、事務局にお伺いいたします。本日の会議の公開、非公開について意見はありますか。</p> <p>先日、皆様に送付いたしました資料3「令和7年度 障害福祉や障害福祉サービスのあり方に関するアンケート 記述・自由記述集」につきましては、市内の障害者に対して実施したアンケートの中で自由記述形式の回答をまとめ</p>

	<p>た資料です。アンケートの回答にあたりましては、回答者に対して事前に「誰がどのように回答したかわからないようにする」ことを記載した上で回答をいただいております。</p> <p>先日程行われた部会において、回答内容について、個別的な内容や一部偏った内容が記載されているということから、この資料が外部に公表されることで、回答者や一部の事業所が不利益を被ることも想定されるのではないかというご意見をいただきました。よって、資料3につきましては、非公開としたいと存じます。</p>
葉石委員長	<p>ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありましたが、資料3につきまして、その資料の性質を鑑みて、市ホームページ等での公開は行わず、それ以外については、公開ということで進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>— 異議なし —</p>
葉石委員長	<p>ありがとうございます。それでは、会議資料の一部を非公開として開催することといたします。</p> <p>公開の場合、傍聴希望者がいらっしゃれば、傍聴いただくことになります。事務局にお伺いします。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますでしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 金子主任）	<p>いらっしゃいます。</p>
葉石委員長	<p>では、傍聴者に入室いただいでください。</p> <p>それでは、議事に移ります。議事第1号「第四次市民福祉プラン等策定に係る基礎調査結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 金子主任）	<p>— 議事第1号について説明 —</p>
葉石委員長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございましたが、何か質問等ございますでしょうか。</p>
宮腰委員	<p>資料2の83ページの間14について、今回の調査と令和5年度の調査の回答項目を比較したときに、令和5年度にあった「就労に向けた訓練施設の充実」が抜けている理由についてお聞きしたいです。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>今回の調査票の作成にあたっては、昨年度の策定委員会でご審議をいただきまして、内容を決定させていただきました。その中で、個別に取り上げては</p>

	<p>りませんが、調査票を20ページ以内に収めたいという中で、新たに追加したい項目もあることから、回答項目についても似ている項目を整理、ボリュームを減らしている部分がございます。ご意見いただいた回答項目は、整理する中で統合させていただいた箇所になります。</p>
<p>宮腰委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>武田委員</p>	<p>資料2の23ページの障害種別の表について、令和5年度の調査のところで、「身体障害」で「生まれてから幼児期までの時期」と「身体障害」で「40歳から64歳までの時期」に該当するところが着色されていますが、一方で今回の調査では「身体障害」で「40歳から64歳までの時期」に該当するところが着色されていないのですが、令和5年度の調査と今回の調査結果は若干の差なので、同じように評価をしたほうがよい気がします。</p> <p>「生まれてから幼児期までの時期」の方が31.9%、「40歳から64歳」が31%ということなので、同じぐらいのパーセンテージであれば、生来性の方と、40歳以降になってから身体障害になった方が多いことがわかると思います。そうすると、40歳以降に手帳を初めて受け取ったという方には何が起きているのか、これを減らすことによって身体障害者が減る可能性もあるという捉え方もできると思いました。</p> <p>令和5年度調査であった着色されていた部分が今回の調査結果では着色がないということになると、身体障害者の生来性のところに目がいって、40歳から64歳までの年代の方には目がいかない可能性があると思うので、この結果についても注意していただきたいと思います。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>ご意見ありがとうございました。表のまとめ方として、最も多い回答数の箇所を着色するという整理をさせていただきました。</p> <p>おっしゃるとおり、下段の令和5年度の調査ではたまたま全く同じ割合でしたので、同じ部分が着色されておりますが、今回調査結果については、「身体障害」で「生まれてから幼児期までの時期」というのが、最多の回答数であったということで、そこが着色されております。</p> <p>おっしゃるとおり、40歳から64歳までの時期に障害者手帳を取得される方も多くいることは見落としてはいけない部分だと思いますので、事務局の方でも念頭に置きたいと思います。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回以降の集計においても、大事だと思うところについては、それがしっかりと伝わるような工夫をしていただければということだと思います。よろしくお願いたします。</p>

<p>議員委員</p>	<p>資料2の186ページ以降の自由記載について、会議の冒頭にも確認があったように、資料3は非公開になりましたが、こちらの自由記載は全て公開で問題がないのかを確認させてください。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>186ページ以降の自由記述欄につきましては、市民の方と中学生の方からの自由記述になります。内容についても特段個別性が高い内容は見受けられないことや、こういったアンケートをとおして理解が深まったというご意見も多かったことから、こちらの部分は公開をする予定で考えております。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>市民・中学生アンケートの自由記述の部分については、個人の特定にまで至る内容がないため、公開という扱いでよいかという話でしたが、それでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>— 異議なし —</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>それでは、そのようにお願いいたします。</p> <p>一つ一つの内容が非常に気になるものですので、量も多い中で大変ですが、何かご意見等ございましたらまた後からでもお聞きいただければと思います。</p> <p>私としては、先ほど事務局からも説明がありましたように、障害者差別解消法や合理的配慮について、当事者はもとより周りの人たちも知らなかったという回答が最も多かったという点について、社会参加に関わる基本的な権利に関わることにも関わらず、今回具体的な数字を突きつけられて、周知度についてはまだこのような状態なのかと思った次第です。</p> <p>この会議で色々と検討している内容が何に基づいているかといえば、これらも大きな要素になるかと思っておりますので、こういったことを周知していくということについても課題であると改めて思った次第です。</p> <p>それでは、議事第2号「第四次市民福祉プラン取り組み案について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>— 議事第2号について説明 —</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございましたが、何かご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>杉浦委員</p>	<p>3点あるのですが、まず1点目は、資料4の1ページの番号3番でヘルプマークの普及啓発を挙げていますが、アンケートの調査結果からわかるとおり、ヘルプマーク以外のマークを知っているという回答が非常に少ないです。別の項目で、ヘルプマークだけではなく、ほかのマークの周知に関する記載があれ</p>

	<p>ばよいと思いますが、ヘルプマークだけが突出して認知度が低いというわけではなく、どのマークの認知度も低いという現状なので、そういった認識を持って取り組んでいただければと思います。</p> <p>2つ目も、調査結果を見て感じたこととして、相談したいが相談先がわからないというご要望を持っている人が多いと感じました。その点は取組の随所に反映させてくださったと思うのですが、市民の方、障害のあるご家族の方は切実に欲していると思います。ぜひ強化していただければと思います。</p> <p>3つ目は質問になりますが、8ページの番号26の中で、運営指導等を行うという取組で、特定相談支援事業所を挙げていただいています。一方で、障害児相談支援事業所も市で指定していると思いますが、そちらを入れていない意図はありますか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>ありがとうございます。3点のご意見とご質問をいただきました。</p> <p>1点目と2点目について、ヘルプマーク以外のマークの周知が必要であるということ、相談先がわからないということに対して、積極的な周知や働きかけをしていただきたいということで、項目として特別に掲げているというわけではありませんが、市の全般的な施策の中で取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>3点目について、特定相談支援事業所と記載している点について、ご指摘いただいたとおり障害児相談支援事業所についても本市が指定をしております。</p> <p>実際のところ、障害児相談支援事業所を単体で運営している事業所はなく、基本的には障害者向けの特定相談支援事業所が、障害児に関しても指定を受けて併せて運営しているというのが本市の現状の実態であったために、この記載で網羅しているという認識でおりました。</p> <p>ただし、この先、単体で障害児相談支援事業所の指定を受ける事業所ができることもあり得ると思いますので、ご指摘のとおり追記をさせていただきたいと思います。ご意見いただきましてありがとうございます。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。</p>
<p>田原委員</p>	<p>4ページの言葉の修正をお願いいたします。番号11の中で「進級・進学・転校」という表記があるのですが、就学相談では「転学」という言葉を使っておりますので、「転学」に修正をお願いいたします。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。修正させていただきます。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それではほかはないようでしたら、次に進めたいと思います。</p> <p>続きまして、議事第3号「第四次市民福祉プラン「めざす姿」について」</p>

<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p> <p>葉石委員長</p> <p><b>3 その他</b></p> <p>事務局（障害者福祉課 金子主任）</p> <p>健康福祉部 柳沢部長</p> <p>事務局（障害者福祉課 金子主任）</p>	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>— 議事第3号について説明 —</p> <p>ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございましたが、何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>基本施策に関する具体的な内容を、これまでの目標を踏襲及び整理した形で改めて示していただいたということで、十分伝わりやすくなっていただければよいかと思いますが、ご意見はございますか。</p> <p>また、全体をとおしてご質問等はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、最後にその他ですが、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、本日の議事を終了し、議長職を解かさせていただきます。皆さん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>葉石委員長、ありがとうございました。続いて、次第の3、その他でございますが、委員の皆様から何かございますか。</p> <p>ないようですので、事務局より連絡事項を申し上げます。</p> <p>次回の会議についてご連絡させていただきます。来年度につきましては、年4回の策定委員会を予定しております。初回は6月頃を予定しております。</p> <p>詳細につきましては、改めてご連絡させていただきます。</p> <p>連絡事項は以上でございます。</p> <p>最後に、閉会にあたりまして健康福祉部長の柳沢よりお礼の挨拶を申し上げます。</p> <p>— 挨拶 —</p> <p>それでは以上をもちまして、令和7年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりましてご審議を賜りありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p>	
<p>令和8年3月11日</p> <p>署名委員 <u>田原 裕己子</u></p> <p>署名委員 <u>青木 梨恵</u></p>	